

平成28年 3月16日

## お 知 ら せ

件 名	第10回十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会の開催 ～大規模水害時における被害軽減技術の開発に向けて～
-----	--

## お知らせ内容

全国的に豪雨による水害が頻発しており、北海道開発局では、ハードとソフトが一体となった取組を進めているところですが、施設の能力を上回る洪水が発生するなどして、ひとたび河川堤防が決壊すると、大量の洪水が市街地や農地に流出し甚大な被害が発生します。

そのため、決壊箇所を効果的に締め切る技術の開発を目指し、北海道開発局と寒地土木研究所では、千代田実験水路等において実験を行っています。

この度、今年度実施した実験の結果等について、河川に関する学識経験者の方々から御意見を伺うため、「第10回十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会」を開催します（詳細別紙）。

なお、委員会は公開で開催しますので、傍聴を希望される場合には直接会場へお越しください。

## 記

- 1 日時 平成28年3月22日（火）14：30～17：30（3時間程度）
- 2 場所 北海道立道民活動センター「かでの2・7」10階1030号会議室  
（札幌市中央区北2条西7丁目）

※十勝川千代田実験水路における取組概要については、以下のHPを参照願います。

[http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z\\_kasen/chiyoda\\_gaiyo/index.html](http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_kasen/chiyoda_gaiyo/index.html)

	所 属	役 職 名	氏 名	電 話 番 号
問 合 せ 先	北海道開発局 河川計画課	課 長 補 佐	おおつか じゅんいち 大東 淳一	011-709-2311 (内線5294)
	帯広開発建設部 治水課	課 長	よこはま ひであき 横濱 秀明	0155-24-4105 (内線291)
	帯広開発建設部 帯広河川事務所	流 域 計 画 官	かわべ かずひと 川邊 和人	0155-25-1295 (内線357)

# 第 10 回十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会

日時：平成 28 年 3 月 22 日（火） 14:30～17:30

場所：北海道立道民活動センター かでの 2・7 1030 会議室

## 議 事 次 第

### 1. 開会

### 2. 議題

- (1) 堤防決壊による浸水被害軽減対策について
- (2) 平成 27 年度 千代田実験水路現地実験結果の報告
- (3) 破堤氾濫流量の軽減技術に関する模型実験結果の報告
- (4) その他

### 3. 閉会

#### 委員名簿

黒木 幹男	元北海道大学大学院工学研究科准教授
高橋 季承	国土交通省北海道開発局建設部河川計画課長
辻本 哲郎	名古屋大学名誉教授（委員長）
藤間 聡	室蘭工業大学名誉教授
山田 正	中央大学理工学部都市環境学科教授

（敬称略、五十音順）

※委員会は公開で開催します。傍聴を希望される場合には、当日会場にて受付します。

## 十勝川千代田実験水路 平成27年度締切工実験の概要

### 千代田新水路における実験・研究

○千代田実験水路※1は、千代田新水路の一部を実験水路として利用したもので、実河川スケールでの様々な実験・研究を行っています。

※1:延長1,300m、水路幅30m(国内最大級)

○北海道開発局と寒地土木研究所は、この実験水路を活用し、共同で河川堤防の「決壊」に関する研究に取り組んでいます。

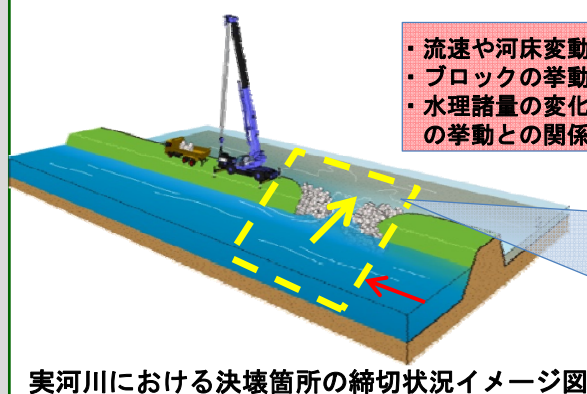


### 堤防の決壊に関する実験の内容

- 洪水により堤防が決壊した場合、河川が溢れて市街地や農地などに氾濫し甚大な被害が発生します。
- 堤防が決壊しても迅速に塞ぐことができれば、被害を軽減させることが期待できます。そのため決壊拡幅の抑制方法や、効率的かつ効果的に決壊箇所を塞ぐ方法について、検討を進めています。

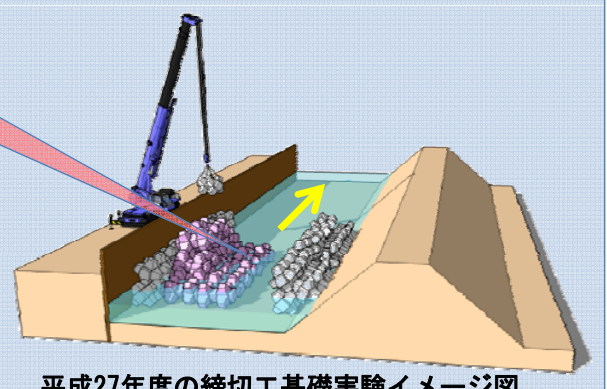


○平成27年度は堤防決壊箇所をコンクリートブロックで塞ぐ「締切工(せめ工)実験」を行いました。決壊箇所を締め切る最中に生じる流速の変化や、それに伴う河床変動状況及び、コンクリートブロックの挙動を計測・把握することで、締切工における課題の確認・抽出や、効果的かつ効率的な締切工技術の開発のための基礎実験を行いました。



- ・流速や河床変動の計測
- ・ブロックの挙動を把握
- ・水理諸量の変化とブロックの挙動との関係を解明

実験水路を実河川における決壊箇所に見立て、ブロック投入により塞ぐことを想定した実験



平成27年度の締切工基礎実験イメージ図



平成27年度の  
実験状況 (H27.8.6)



資材（消波ブロック）  
の投入に使用した  
建設機械



《実験を利用した災害対応能力の向上》

- 実際に災害が発生した際に迅速に対応できるよう、北海道開発局は「一般社団法人帯広建設業協会」と「北海道開発局所管施設等の災害応急対策業務に関する協定」を締結しています。
- 今年度の実験は、「一般社団法人帯広建設業協会」が実験に必要な締切作業員などに協力しており、災害時における対応能力の向上を図りました。



- また、北海道開発局は、出水時における水防活動の技術力向上を目的とし、水防団員等を対象とした各種講習会を実施していますが、今年度は、その講習会のひとつである水防技術講習会を、実験水路において実施しました。
- 講習内容は、『土のう作り』『木流し工』『シート張り工』等ですが、なかでも『木流し工』については、通水中の実験水路で行うことで、より実践的な講習となりました。

水防技術講習会の様子（木流し工）



水防技術講習会の様子（土のう作り）